

今日のトピック RBAは0.5%の利上げを継続
大幅な利上げが続くも、豪州経済は堅調な成長を維持
ポイント1 政策金利は2.35%に引き上げ

- 9月6日、豪州準備銀行（RBA）は金融政策決定会合で、政策金利を0.5%引き上げて2.35%としました。利上げおよび利上げ幅は市場の予想通りでした。RBAはインフレ率を物価目標の範囲に収めるべく、今年5月以降利上げを継続していますが、未だ豪州のインフレ率は1990年台初頭以来の高水準にあり、今後数カ月でさらに上昇して、年内にピークを迎えると見られています。

ポイント2 3四半期連続のプラス成長

- 9月7日に発表された豪州の4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+3.6%と、前期の同+3.3%や市場予想の同+3.4%を上回る堅調な伸びとなりました。経済再開の動きが続く中で宿泊・飲食サービス等の家計消費が高い伸びとなったほか、コロナ規制の緩和に伴う旅行・輸送サービスや資源輸出等が成長をけん引しました。
- また、先月発表された7月の失業率は+3.4%と歴史的な低水準にまで改善しています。求人や求人広告が高水準にあることから、RBAは失業率が今後数カ月で一段と低下すると見ているものの、その後は利上げ等の影響により、経済成長率は鈍化し、失業率もいづらか上昇すると見えています。

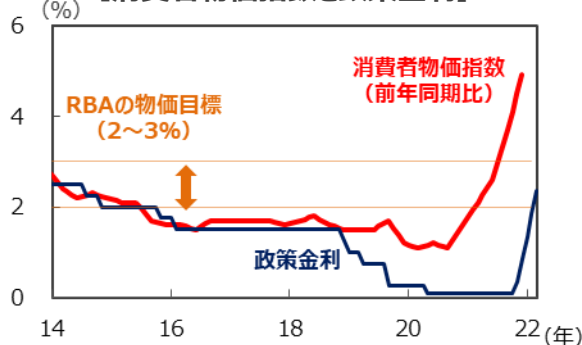
今後の展開
資源需要や雇用環境に支えられ、豪州経済や豪ドルは堅調さが続くだろう

- 6日の会合後、為替相場は豪ドル高・円安となり、8日朝時点で1豪ドル＝97円台前半となっています。ただしこれは、6日以降急速に米ドル高が進行していることに連れたもので、豪ドルの対米ドル相場で見ると豪ドル安となっています。根強い資源需要や良好な雇用環境、コロナ下で積みあがった貯蓄などを背景に豪州経済は堅調さを維持すると見られます。RBAは、インフレ抑制のために今後も利上げを継続することを示唆しているため、豪ドルの対円相場は堅調に推移すると見込まれます。

**ここも
チェック!**

2022年9月 2日 FRBに叩かれた米国株式市場
2022年8月24日 米政策金利の見通し、先走り過ぎたマーケット

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【消費者物価指数と政策金利】

【豪ドル円レートと豪日金利差】
